

## ポスト 2015 年開発アジェンダに関する提言

世界の子どもたちのために活動する国際 NGO ワールド・ビジョンでは、ポスト 2015 開発アジェンダ策定に向け、「何事にも立ち止まらない：子どもたちのためのポスト 2015 開発アジェンダを」と題する提言書を作成いたしました。

### 1. 何事にも立ち止まらない：まずは最も周縁化された子どもたちから始める

- **カウントされていない子どもたちが確実に捕捉されるように：**ポスト 2015 開発アジェンダの成功は、ミレニアム開発目標（MDGs）がターゲットに含むことができなかった、過酷な環境に生きる最も周縁化された最も脆弱な子どもたちを捕捉できるか否かにかかっています。現在出生時登録されているのは、世界の子どものわずか 3 分の 2 のみであり、それ以外の 2 億 3 千万人は、誰の目にも触れず、存在を知られず、その権利が認められない状況に陥るリスクに直面しています。ポスト 2015 の枠組みでは、これらの子どもたちが確実に捕捉され、その権利を否定されることがないように、市民の力を活用するとともに、統計制度を確立することが必要です。

### 2. 何事にも立ち止まらない：着実に進み続けるためのターゲット

- **最初の 1,000 日にフォーカスする：**妊娠期から 2 歳になるまでの最初の 1,000 日は、一生の中で最も重要な期間です。特に、この期間に十分な栄養の摂取ができるか否かが、その後の健康と成長に大きな影響を与えます。しかしながら、MDGs では、年間 660 万人に上る 5 歳未満児の死亡の約半数の要因となっている栄養の重要性が十分に認識されていませんでした。ポスト 2015 の枠組みでは、子どもの栄養不良の根絶、発育阻害（stunting）の 5%以下への抑制、消耗症（wasting）の 4%以下への抑制、全ての人々が年間を通して十分な食糧へのアクセスを得ること、子どもと母親の栄養状態の改善、新生児の少なくとも 60%が 6 か月になるまで完全母乳で育てられることを目指す必要があります。また、ワールド・ビジョンは、新しい枠組みの中で、予防可能な子どもの死亡をゼロにすることを強く求めます。そのためにも、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジが適切に制度化・運用され、最も周縁化された子どもたちが質の良い保健サービスを受けられるようになることが必要です。
- **子どもに対する暴力を撤廃する：**児童婚や女性器切除（FGM）などの最悪の形態の暴力、身体的・性的虐待、児童労働、子ども兵士への徴兵など、子どもに対する暴力はあらゆる国で生じており、毎年 5~15 億人の子どもたちがその犠牲になっています。暴力の被害を受けた子どもたちは、学校を脱落する可能性が高く、長期にわたる負の影響を受けます。働くために学校を辞めた 1 億 6,800 万人の子どもたちの生涯賃金は 13-20%減額し、貧困に陥る確率は 30%高まります。MDGs に暴力撤廃が含まれなかったことが、MDGs の多くの目標の達成を妨げています。2030 年までに極度の貧困を根絶するためには、子どもに対する暴力の撤廃が鍵となります。ポスト 2015 の枠組みでは、子どもに対するすべての形態の物理的・性的暴力を根絶するという明確な目標を含む必要があります。
- **子どもが紛争下で生きることのないように：**約 5 億人の子どもたちが、生命や安全に対する脅威を感じ、基本的な栄養・保健サービス・教育などへのアクセスもなく、より良い未来に対する希望の無い脆弱な地域に暮らしています。子どもの死亡の 70%が最も脆弱な国で発生しており、脆弱国で生まれた子どもたちが 5 歳になる前に死亡する確率は、脆弱性の低い低所得国に比べ 2 倍、中所得国に比べ 5 倍高くなっています。資源の不足のみならず、統治の不足や欠如、不公正、腐敗、暴力など、貧困を導く様々な要因を対象としなかったため、これらの子どもたちは、MDGs の対象にはなれませんでした。

した。次の目標では、脆弱で紛争の影響を受けた地域にいる、最も到達することが難しい子どもたちを対象に含めるべきです。ポスト 2015 では、持続する平和と暴力の撤廃を目標に入れる必要があります。平和の達成に直接的に寄与する目標に加え、新たな枠組みでは、脆弱な環境にある子どもたちにフォーカスしたガバナンス、包摂性、説明責任の各目標を含む必要があります。

### 3. 何事にも立ち止まらない：全ての人が協働する

- **市民の力を：** 貧困の根絶という意欲的な目標は、これまでと同様のやり方をしていたのでは達成できません。国別目標の達成に向けた一義的責任は各国政府が負っていますが、そこに子どもを含む市民の参画を促すことで、政府が表明した目標に対する説明責任が向上します。データ収集・共有にコミュニティの参画を促すことで、グローバルレベルの目標が地域レベルでの明確な変化に繋がります。ポスト 2015 では、子どもや若者を含む参加型のモニタリングとアカウンタビリティの制度を確立する必要があります。
- **民間セクターの参画を：** 新たな目標の達成に向けた進捗を加速し、規模を拡大するためのイノベーションを生むためには、政府、国際機関、民間企業、市民社会というクロスセクターのパートナーが協働することが不可欠です。また、企業には、適切な納税をしっかりと行うなど現行のガバナンス体制に従うことを通じ、良い統治を促すための役割を果たすことが求められます。

本件に関するお問い合わせ・ご意見などについては、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン 柴田哲子 (noriko\_shibata@worldvision.or.jp) までお願いいたします。